

ICT 教育実践論 リフレクションシート

氏名

1、授業の到達目標

各種情報機器及び電子教材を利用した授業設計の方法論を理解することができる。
 授業で利用する電子教材を新たに作成するための知識・技能を修得することができる。
 グループ学習を体験することによって協働学習に関する知見を共有することができる。

2、学び方の評価基準（ルーブリック）

観点	S	A	B	C
主体性 意欲 自分の意見	意欲的に考え、自分の意見を十分に伝えることができた。	意欲的に考え、自分の意見を伝えることができた。	意欲的に考えたが、意見を十分に伝えられなかった。	意欲も意見も不十分であった。
協働性 話し合い アイデア	十分に話し合うことができ、新しいアイデアが創出できた。	話し合うことで、新しいアイデアが創出できた。	話し合えたが、新しいアイデアは創出できなかった。	話し合いもアイデアも不十分であった。
知識・技能 方法の理解 技能の向上	操作・教材・学習等に関する方法を理解し、技能が飛躍的に向上した。	操作・教材・学習等に関する方法を理解し、技能が向上した。	方法は理解できたが技能の向上までには至らなかった。	方法の理解も技能の向上も不十分であった。

3、振り返り（自己評価：主体性、協働性、知識・技能）

月 日	主体性		学んだこと	
	協働性			
	知識技能			
月 日	主体性		学んだこと	
	協働性			
	知識技能			

パフォーマンス評価の例（プレゼンテーション）

氏名

1. テーマ

校内研修を楽しく充実したものにするための作戦を考えて提案を行う

（相手：教職員、時間：2分以内）

2. 評価基準（ルーブリック）

観点	S	A	B	C
内容	楽しいアイデアが豊富に含まれて、特に充実した内容である。	楽しいアイデアが含まれていて、充実した内容である。	アイデアは含まれているが、充実した内容ではない。	アイデアもなく、充実した内容でもない。
話し方	相手を十分に楽しませて、特に関心を高める話し方をしている。	相手を楽しませて、関心を高める話し方をしている。	相手を楽しませたが、関心を高める話し方ではない。	相手を楽しませることもなく、関心を高める話し方でもない。
見せ方	極めて印象に残る画面であり、特に分かりやすい。	印象に残る画面であり、分かりやすい。	印象に残る画面ではないが、分かりやすい。	印象に残る画面でもなく、分かりやすくもない。

3. 評価

班	内容	話し方	見せ方	気づきメモ

4. 学んだこと
